第37回

全国公民館セミナーに参加して

西尾市教育委員会事務局生涯学習課　主事
中根 一輝



1

OPENING / PROFILE

自己紹介

名前

なかね　かずき

中根 一輝

経歴

民間企業に7年勤務 → 西尾市役所へ転職

令和4年度から
商工振興課（3年）
・中心市街地活性化業務（公共空間利活用など）
・勤労者施設の管理業務

令和7年度から
生涯学習課（2年目）
・社会教育、生涯学習講座業務
・『二十歳の集い』に関する業務

2

SEMINAR / OVERVIEW

全国の公民館主事・行政職員が、次世代の公民館活動を考える3日間

主催
公益社団法人
全国公民館連合会

会場
明治安田ホール
東京都千代田区丸の内

日時
令和8年
2月2日（月）～4日（水）

参加者
全国から 約70名



3

SEMINAR / THEME

今回のテーマ

つなぐ　はぐくむ　ひらく

次世代の公民館活動のあり方を探る３日間

4

SEMINAR / 3-DAY PROGRAM

3日間のプログラム

ビジョンから実践、そして現場の課題解決へ

DAY 1 2月2日	DAY 2 2月3日	DAY 3 2月4日
ビジョンと施策	実践と対話	現場の課題解決
● 開会・施策説明	● 全国の優良事例発表	● 著作権講座
● シンポジウム	● 映画＆トーク	● 社会教育法第23条
● 情報交換会	● 深掘りグループワーク	● リスクマネジメント

5

DAY 1 / Feb. 2

1日目は、シンポジウムを中心に

施策説明の後、2つの地域実践から次世代の公民館を考えた

01 施策説明｜文部科学省の公民館をめぐる動き

高田 行紀 氏（文部科学省 地域学習推進課長）

02 シンポジウム
次世代へつながる公民館のしくみづくり

進行　青山 鉄兵 氏（文教大学准教授）
登壇　大畑 伸幸 氏（NPO法人おむすび理事長）
　　南 信乃介 氏（那覇市繁多川公民館館長）



6

SYMPOSIUM / CASE 01

公民館を「ひとづくりの場」へ

NPO法人おむすび理事長　大畑 伸幸 氏｜島根県益田市

01	02	03	IMPACT
公民館＝ひとづくりの場	益田版「カタリ場」	まちづくりプロジェクト	若年層のパブリックマインド
地域の核として人を育む	学校外の活動へ誘う	公民館 × 地域団体	地域を支える意識を育む

学校教育だけでは養いにくい、多世代との交流を地域ぐるみでつくる

7

SYMPOSIUM / CASE 01・KEYWORD 01

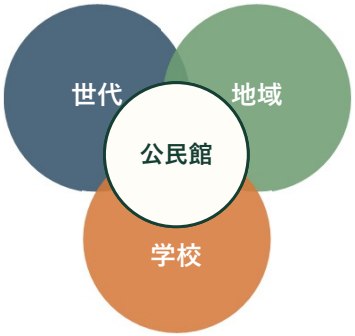
KEYWORD

ごちゃ混ぜ

世代・地域・学校の垣根をとる

開かれた社会をつくり、
その拠点を公民館が担う

公民館＝垣根を越える拠点



8

SYMPOSIUM / CASE 01・KEYWORD 02

「ナナメの関係」との“対話”

同世代の横並びだけでなく、異なる世代と関わる

いつもの関係

横並びの同世代

同 — 同 — 同

友達のような、同じ目線の関係

カタリ場

ナナメの世代関係



異なる経験と価値観が交差する

対話が「ごちゃ混ぜ」への第一歩になる

9

SYMPOSIUM / CASE 02

単館を越え、地域全体をコーディネート

那覇市繁多川公民館館長　南 信乃介 氏

伝統文化
豆腐づくりなどを
守り、次代へつなぐ

学校連携
社会教育士として
学びを接続

SOCIAL EDUCATION
**地域全体を
コーディネート**

すぐりむん認定
役立ちたい自分を
地域・学校で発揮

地域価値
公民館の垣根を越え
地域独自の価値観を育む

10

SYMPOSIUM / TAKEAWAY

若者が来る公民館とは

シンポジウムで交わされた、2つの率直な言葉

01
“公民館は講座・事業実施の場ではなく、居心地が良く、人が集まり、交流が生まれる場所が理想

02
“支援・教育・行政臭のする場所へは、若者は来ない

IDEAL FLOW

自然な環境 › 人が集まる › 交流が生まれる

11

DAY 2 / Feb. 3

実践を聞き、映画を見て、対話する

全国の優良事例から「**ごちゃ混ぜ**」を深掘り

01 **全国の優良事例発表**
富山市神保公民館｜吉賀町柿木公民館

02 **映画鑑賞＆トーク**
『若者が地域のミライをひらく』

03 **深掘りグループワーク**
テーマ：ごちゃ混ぜ


映画のモデルとなった実践者と、制作意図・想いを語る

12

GOOD PRACTICE / CASE 01

地域の魅力を、ひとつのブランドへ

富山市神保公民館主事　永山 雅子 氏



13

GOOD PRACTICE / CASE 01・INSIGHT

発信より先に、残したいものがある

永山氏の言葉から見えた、地域ブランドのつくり方

“ SNSは発信ツールではなく、
思い出の置き場所

“ アイコンや言葉にこだわることで、
一体感が生まれる

永山 雅子 氏　写真の“映え”より、地域の人が振り返れる記憶を積み重ねる

14

GOOD PRACTICE / CASE 02

「楽しく学ぶ」が、地域を自分ごとにする

吉賀町柿木公民館主事　円山 洋輔 氏

自然遊び	寺子屋	学校連携	けん玉
プレーパーク かきのきむら	小学校 修行体験	ふるさと教育	遊びを通じた 社会教育

役割が生まれる → 地域が自分ごとになる → パブリックマインドと自我

公民館＝一人ひとりに役割が与えられ、輝く舞台

15

GOOD PRACTICE / CASE 02・INSIGHT

公民館は、役割を持って輝ける舞台

円山氏の実践から見えた、社会教育の可能性

「一人ひとりに役割が与えられ、輝く舞台」

自分ごとになる → 地域が好きになる

円山 洋輔 氏

社会教育法は、学びに関することであれば、
比較的自由に「やりたい」を実現できる

PUBLIC MIND

役割
×
楽しさ

若いうちから
地域を支える自分を育む

16

FILM & TALK / TWO STORIES

若者が地域のミライをひらく

2つの実践から、若者主体の企画と継続性を考える

CASE A
広島市｜古田公民館

公民館主体の関係人口づくり

古田公民館
リモコひろしま など

為政 久雄 氏

CASE B
浜松市｜富塚協働センター

若者主体の企画支援

富塚協働センター
アオハル音楽祭 など

野嶋 京登 氏

17

FILM & TALK / COMPARISON

同じ「自分も楽しむ」でも、継続の設計は違う

2人の実践を、活動主体・関係性・異動後・運営価値観で比較

	為政氏	野嶋氏
活動主体	地域の人々 （自身も参画）	若者 （自身もプレーヤー）
活動への姿勢	自分も楽しむ 親子のような関係性	自分も楽しむ 友達のような関係性
異動後の活動	地域が担い続ける	一旦終了
運営の価値観	再現性を重視した 標準化を推進	属人化を許容し 個人の裁量を尊重

※発表者の所感を含めて整理

18

FILM & TALK / MAIN REMARKS

ゼロをイチにするには、裁量と理解がいる

トークで印象に残った2つの発言

01 上司の理解

事業の発案・実施にあたっては、
上司の理解が必要

02 属人化の力

属人化は悪ではない。
属人によってゼロをイチにする
事業が生まれる

属人化を恐れて「やらない理由」にしない

19

GROUP WORK / MIXED COMMUNITY

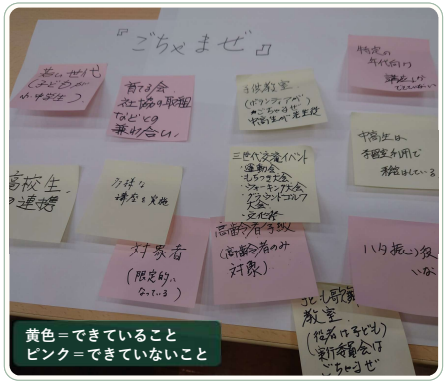
深掘りグループトーク

できていること・できていないことを
付箋で可視化

THEME｜ごちゃ混ぜ

CHALLENGE 01
特定の年齢層との接点はあっても、
関係性までは築けていない

CHALLENGE 02
社協や既存団体との兼ね合いの中で、
公民館はどこまで関われるのか



20

DAY 3 / Feb. 4

最終日は、公民館の困りごとを解く

法制度・著作権・リスク管理を、現場目線で確認

01

著作権

社会教育 ≠ 学校教育
著作権による制約を受ける

講師｜宮武 久佳 氏

02

社会教育法 第23条

社会的意義・地域性を
説明できれば、極力利用へ

講師｜宮武 久佳 氏

03

リスク マネジメント

全公連
「公民館もしもノート」を活用

講師｜梅山 吾郎 氏

21

NISHIO CITY / CURRENT STATE

西尾市の生涯学習施設について

配置状況｜市内全域



施設種別｜13施設

11 | 2

■ 公民館・ふれあいセンター　11施設
■ 地域交流センター　2施設

運営形態｜13施設

7 | 4 | 2

直営 7｜再任用館長
指定管理 4｜運営委員会　米津・八ツ面・西野町・福地
指定管理 2｜民間事業者　一色町公民館
一色地域交流センター

22

NISHIO CITY / NEW CENTER

全世代・多文化の学びを支える新拠点

西尾市生涯学習センター｜令和9年4月開館予定

2つの機能を一体化

総合教育センター機能

・不登校・ひきこもり支援
・外国人児童生徒への教育支援
・貸室・教員研修機能

地域交流センター機能

・子どもの遊び場
・多世代交流スペース
・市民活動サポート機能



23

NISHIO CITY / DIGITAL TRANSFORMATION

紙の講座案内から、専用サイトへ

生涯学習講座情報サイト「まなびのスタジアム」（令和7年度～）



幅広い講座情報を、ひとつの入口に集約

まなスタ

24

NISHIO CITY / MANASTA FEATURES

「まなスタ」が変えた、5つのこと

探す・選ぶ・申し込むを、ひとつのサイトで完結

西尾市生涯学習講座情報サイト まなスタ まなびのスタジアム

学びの入口を
もっと身近に

01 一元管理
確認から申込まで

02 いつでも・どこでも
時間・場所を選ばない

03 絞込検索
ジャンル・地区・ニーズ

04 幅広い情報
市主催の講座・教室も掲載

05 画像で理解
文字中心から視覚訴求へ

25

NISHIO CITY / VISUAL COMMUNICATION

サムネイルは、講座の“入口”

同じ木工教室でも、一目で内容が伝わる見せ方が必要

BEFORE



講座名
大工さんが教えてくれる木工教室～「プランターラダー」を作ろう！～

内容を想像しにくい

一目で伝わる

ACTUAL COURSE



講師の手元と、制作の様子



完成物が想像できる写真

26

NISHIO CITY / BEFORE & AFTER

各職員が学び、見せ方が変わった

令和7年度当初から令和8年度へ｜視覚で伝わるページに

令和7年度 当初



令和8年度



職員一人ひとりの試行錯誤が、伝わりやすさを底上げ

27

LOCAL PRACTICE / CASE 01

地域の星空を、親子の学びに

寺津ふれあいセンター｜天体望遠鏡を生かした継続事業





月1回の天体観望会を、地域講師と運営

継続の仕組み

- 七夕・皆既月食に合わせた観望会
- 親子の望遠鏡づくり講座
- 満天きらきら倶楽部が講師を担当



地域のイラストレーターが制作
市民公募で「ゴンキチ＆コンちゃん」と命名

28

LOCAL PRACTICE / CASE 02

地域産業を、そのまま学びの資源に

福地ふれあいセンター | 果樹の剪定管理を学ぶグリーン講座





地域性 植木栽培が盛んな土地柄

実用性 ミカン・柿の管理に直結

継続性 シリーズ化し、人気講座へ

29

LOCAL PRACTICE / CASE 03

子どもの活躍が、多世代を呼び込む

鶴城ふれあいセンター | 地元の幼稚園・中学校・高校と連携した音楽イベント







子どもの活躍 → 家族が集う → 多世代のにぎわい

30

LOCAL PRACTICE / CASE 04

地域の歴史文化を、学校と一緒に伝える

室場ふれあいセンター | ホタルを題材にした地域連携プロジェクト







地元小学校 × ホタル保存会 × 公民館

地域の歴史文化を、次世代へ

31

CONCLUSION / FINDING

傑出した一人より、地域に関わる多くの職員

セミナーを通じて見えた、西尾市の強み

SEMINAR SPEAKERS

本セミナーの講師のような

傑出した プレーヤーはいない

NISHIO'S STRENGTH

西尾市には 自発的に地域と連携する 職員が、たくさんいる

目立たなくても、地域の活動を支える小さな実践が積み重なっている

32

CONCLUSION / SUSTAINABILITY

一人に依存しない、持続的な地域連携へ

公民館職員の一人ひとりが当事者として地域に関わる

01	02	03	04
一人ひとりが	役割と学びを	人・団体・世代を	活動を地域へ
当事者	**はぐくむ**	**つなぐ**	**ひらく**
地域に関わる	職員同士で支え合う	地域の資源を結ぶ	継続できる形にする

つなぐ・はぐくむ・ひらく

持続的な地域連携事業

33

CONCLUSION / ROLE OF THE DEPARTMENT

所管課のあるべき姿

管理するだけでなく、現場が動き続けるための土台をつくる

01 活動の芽を摘まない

傾聴と受容

監督者として現場の声を聞く
館長への指導・意識改革

02 活動をサポートする

職員育成と発信

担当者情報交換ミーティング
まなびのスタジアム・市公式LINE

施設単体では成しえないことを、所管課が支える

34

第37回全国公民館セミナー 参加報告

つなぐ　はぐくむ　ひらく

ご清聴ありがとうございました。

35